

自己点検・自己評価報告書
2022 年度

学校法人 栄戸学園
横浜未来看護専門学校
2023 年 9 月 20 日

1. 学校の運営目標

【教育理念】

学校法人栄戸学園は、「One for ALL, ALL for One」（一人は皆のために、皆は一人のために支え合う）の精神のもと、変動する社会に対応するために、未来を切り開く能力を備え、地域の保健・医療・福祉に貢献できる優れた人材を育成することを目的としています。

本校は、生命を尊重し温かく思いやりのある心を持ち、人と人との相互関係の中で成長し合い、チームとして協働できる人材を育成します。また、個人や家族、地域住民の視点に立ち、あらゆる健康状態やその変化に対応できる知識と技術を備えた看護専門職業人の育成をします。さらに、医療の進歩、社会情勢の変動を鑑み、広い視野で考え研鑽し続ける能力を養います。

【2022 年度 学校運営目標】

〔健全経営〕

1. 入学生募集人数の増員（60→80）に向けた学生確保対策の計画・実行
 - ・受験者数 320 名目標（受験倍率 4 倍）
2. 学生数の定員増及び新カリキュラムに伴う学習環境、実習施設の拡充
3. 業務システムの改善、効果的な会議の設定による情報共有
4. 学校安全管理体制の見直し、COVID-19 における感染予防対策の継続

〔教育の質〕

1. 各学年（現行・新カリの混在）に応じた学習支援
 - ・ディプロマポリシーを達成できるための段階的な支援
 - ・実習につながるシミュレーション教育
 - ・看護師国家試験 100%合格を目指した学習支援計画と実施
2. COVID-19 の影響による学習不足を踏まえた学習支援（計画的補充）
3. 生活を重視した切れ目のない 看護が学べる授業（実習）展開の検討
4. 学生個々を尊重した支援とチームワーク育成支援

〔人材育成〕

1. 職員の資質向上のため研修体制の継続と目標管理の実施
 - ・専任教員のキャリアラダーに沿った教育力の向上

〔人材確保〕

1. 定員増に伴う専任教員・実習指導教員の確保
2. 学生の定員増に伴う専任教員の計画的な増員

2. 2022 年度の学校評価に関する取り組み

2019 年度の評価において、文部科学省策定の「専修学校における学校評価ガイドライン（平成 25 年）」評価指標から、私立専門学校等評価研究機構の「専門学校等評価基準書 Ver. 4.0」に変更した。小項目ごとの評価の視点、チェック項目、参考資料例と照らし合わせながら、評価を試みている。

2022 年度の重点課題は、2021 年と同様、①卒業生への支援体制確立、②防災・安全管理体制の整備、③学校評価における学校関係者評価の体制づくりに加え、定員増に伴う学生確保及び教員確保があげられた。

3. 評価項目別の達成および取り組み状況

評価項目の達成状況については、チェック項目や現状から査定し、小項目ごとに評定をつけた。また、中項目ごとに現状と課題を表記し、次年度の学校運営に役立てるものとする。

【評価基準】 適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

中項目	小項目	評定
1-1 理念・目的・ 育成人材像	1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	3
	1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4

【現状と課題】

- ・理念等、学生には入学時ガイダンスにおいて周知している。保護者への周知はできていない。
- ・一学年定員を 60 名から 80 名に増員した。3 年後に総定員 240 名での運営を軌道にのせることを優先し、そのうえで将来構想を定めていきたい。

基準 2 学校運営

中項目	小項目	評定
2-2 運営方針	2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めているか	4
2-3 事業計画	2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	4
2-4 運営組織	2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	4
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	4
2-5 人事・給与制度	2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	3
2-6 意思決定システム	2-6-1 意思決定システムを整備しているか	4
2-7 情報システム	2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	2

【現状と課題】

- ・カリキュラム改正に伴って 2022 年からの学則、学則施行細則を改定した。その他の規程に関して見直しができなかった。
- ・昇進・昇給、人事考課については、戸田中央メディカルケアグループ（以下 TMG）の規程に従って行われている。教員に関しては、看護教員キャリアラダーを作成し、運用しはじめており、今後昇進の基準等に運用できるよう整備をする予定。
- ・学生の情報管理システムの運用は行われているが、活用して学生指導は行えていない。業務の効率化に関して半数の職員が当てはまらないとしている。システムのメンテナンス、セキュリティ管理の体制は整備されていない。

基準 3 教育活動

中項目	小項目	評定
3-8 目標の設定	3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4
	3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4
3-9 教育方法・評価等	3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4
	3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか	2
	3-9-3 キャリア教育を実施しているか	3
	3-9-4 授業評価を実施しているか	2
3-10 成績評価・単位認定等	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4
	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	3
3-11 資格・免許の取得の指導体制	3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4
	3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	4
3-12 教員・教員組織	3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3
	3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	3
	3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	3

【現状と課題】

教育課程

- ・新カリキュラムによる教育課程が開始した。1年生以外は旧カリキュラムで新旧混合の進度であり、臨地実習配置の調整に苦慮した。2023年度の実習配置においては、新しく実習施設を追加するため、神奈川県に2病院、2訪問看護ステーションの申請し承認を得た。
- ・COVID-19感染拡大は続いたが、基本的には、対面授業と実習も臨地でほぼ実施できた。第7波、8波のピーク時は学生・教職員に感染者がでて、そのたびに、ZOOM対応や補習対応、時間割変更、実習調整と業務が煩雑となった。
- ・授業評価は体系的には行われていない。

キャリア教育

- ・就職に向けてガイダンスを実施している。低学年から計画的に実施したい。TMGの就職に関しては、病・院説明会、病院見学（インターンシップ）の支援をしている。

教員の資質向上

- ・COVID-19感染拡大の影響で、研修参加が減っている。教員のレベルアップについては、TMG看護教員ラダーに沿った研修計画を定められるよう体制・組織づくりが必要である。

基準 4 学習成果

中項目	小項目	評定
4-13 就職率	4-13-1 就職率の向上が図られているか	4
4-14 資格・免許の取得率	4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	4
4-15 卒業生の社会的評価	4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	2

【現状と課題】

- ・看護師国家試験は、98.2%の合格率で全校平均を 2.7 ポイント上回った。次年度も、100%を目指し学生状況に応じた国家試験対策、学習支援を行う。
- ・卒業生の動向を把握できていない。同窓会の活動を支援ため、同窓会総会の開催を目指す。

基準 5 学生支援

中項目	小項目	評定
5-16 就職等進路	5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4
5-17 中途退学への対応	5-17-1 退学率の低減が図られているか	3
5-18 学生相談	5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	3
	5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	4
5-19 学生生活	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4
	5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4
	5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	1
	5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	1
5-20 保護者との連携	5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	3
5-21 卒業生・社会人	5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	2
	5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	2
	5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	2

【現状と課題】

中途退学者の増加

一学年定員 80 名となって初めての入学生であるが、退学者 11 名であった。入学試験において合格基準を引き下げたことで、今までに入学していなかったレベルの学生が入学していることは否めない。

保護者との連携

COVID-19 感染予防の観点から、保護者会の開催ができていない。問題のある学生に関しては担任が連絡をしている。保護者への発信手段及び保護者会の開催を検討する。

卒業生への支援

COVID-19 感染症拡大により時は、卒業生の図書室の利用を中断したが再開している。同窓会に関しては、発足はしたが活動ができていないため、学校が支援して活動を推進し、卒業生の動向の把握にも努める。

学生生活

課外活動においては、COVID-19 感染予防の観点から中断しているが、落ち着けば再開する予定。学生寮の設置はないが、学生会館等の紹介はしている。

基準 6 教育環境

中項目	小項目	評定
6-22 施設・設備等	6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4
6-23 学外実習、インターンシップ等	6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4
6-24 防災・安全管理	6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3
	6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	2

【現状と課題】

防災

- ・ 防災（消防）訓練は、年 2 回実施、訓練要項を見直し、アクションカードを用いた訓練を行った。学内及び臨地実習場での災害を想定した訓練を実施した。教職員全員の訓練や臨地実習の状況設定がされていないことから、実践的な想定での訓練も必要である。
- ・ 備品の転倒防止について、ガラスケースの展示模型が未実施であり、対策をする必要がある。

安全管理

- ・ 学校安全管理規定はあるが、周知できていない。また、見直しも必要であり、授業中の発生事故、学外授業や実習の安全管理、危険物の管理などのマニュアルも整備し、運用しなければならない。

基準 7 学生の募集と受け入れ

中項目	小項目	評定
7-25 学生募集活動	7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	3
	7-25-2 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	4
7-26 入学選考	7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4
	7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4
7-27 学納金	7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4

	7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	4
--	--	---

【現状と課題】

- ・学校説明会等の参加人数の減少とともに、受験者も減少し受験倍率が2倍を割った。受験者数の獲得に向けて、他校で実績のあったA0入試を試みる。
- ・入学者の傾向については、進研アドの入学前教育、入学後の基礎力リサーチ(テスト・アンケート)を実施して、把握に努めている。
- ・学納金について、保護者からの問い合わせがあることから明示、説明が必要である。

基準8 財務

中項目	小項目	評価
8-28 財務基盤	8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4
	8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4
8-29 予算・収支計画	8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4
	8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4
8-30 監査	8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4
8-31 財務情報の公開	8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3

【現状と課題】

- ・財務情報の公開に関しては、できていない。

基準9 法令等の遵守

中項目	小項目	評価
9-32 関係法令、設置基準等の遵守	9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	3
9-33 個人情報保護	9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3
9-34 学校評価	9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4
	9-34-2 自己評価結果を公表しているか	4
	9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	1
	9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	1
9-35 教育情報の公開	9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3

【現状と課題】

- ・法令遵守している。ハラスメントに関しては、TMG 職員対象に講習（e ラーニング）があり受講した。
- ・学校評価においては、学校関係者評価の体制づくりが必要である。

基準 10 社会貢献・地域貢献

中項目	小項目	評定
10-36 社会貢献・地域貢献	10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
	10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	1
10-37 ボランティア活動	10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	1

【現状と課題】

- ・2021 年度より英検の試験会場として施設提供をしている。また、ボランティア活動は、COVID-19 感染予防の観点から中断しているが、落ち着けば、再開するとともに、地域から愛される学校を目指し、地域貢献できることを検討していきたい。

4. 総合的な評価結果と課題

2022 年度の課題としては、中途退学者の増加である。一学年定員を増加して 80 名を確保するために、入学試験において合格基準を引き下げたことで、今までに入学していなかったレベルの学生が入学していることは否めない。また、受験者数の減少している受験倍率が 2 倍を割り過去最低であった。質の良い学生を選考できる受験者数確保のための対策が必要である。また、学生数の増加に伴って、専任教員の増員をすすめなければならないが、増員につながらなかった。次年は積極的に人員の補充できるように対策する。

2022 年度の自己点検自己評価の結果として得られた課題（評価点が低い）は、①授業評価において、基礎分野・専門基礎分野の授業評価をしていない。また、学校として統一した評価基準がない点（基準 3）、②卒業生への対応として、卒後の実態把握がなく、支援体制が整えられていない点（基準 5）、③教育環境として、安全管理体制の整備がなされていない点（基準 6）、④学校評価において、学校関係者評価がなされていない点（基準 9）である。これらは、継続して改善されていない点であり計画的な対策が必要である。